

芦屋市内の団体・事業者の環境保全に係る取組み実績一覧(平成27年度)(案)

第3次芦屋市環境計画では、市民、事業者、市がそれぞれの立場で「学び・行動」し、さらに「連携・協力」していくことを基本方針としており、施策(取組)ごとに、市民、事業者、市の主体を明確化しています。

しかし、計画の実施状況を把握する際には、市(行政)の施策が主となり、市民、事業者の取組み状況の把握ができていませんでした。

この度、市内の団体及び事業者を対象とし、平成27年度に実施した環境保全に係る取組みについてアンケート調査を行いましたので次のとおり報告します。

アンケートの概要

1 対象:62団体・事業者

※内訳(団体:14団体, 事業者:48事業者)

2 期間

平成28年10月21日(金)~11月18日(金)

3 回答

26団体・事業者から回答があった。

4 アンケート内容

自然環境・緑化について(環境計画の基本目標1, 3), 地球温暖化・節電・省エネについて(環境計画基本目標2, 4), 循環型社会・リサイクル等について(環境計画基本目標5)の3分野における平成27年度の取組み実績及び実施における課題・芦屋市に希望する支援等について記述式でアンケートを行いました。

なお、アンケート結果については、環境計画の基本目標ごとに取りまとめています。

基本目標①		自然環境を守る
施策の方向	施策	27年度の取組み
生きものの生息環境を知り、守る	地域の生きものの種類や数を調べ、知らせる	①芦屋川のツルヨシの繁茂を抑制し、多様な生き物の生息できる環境づくりを目的として、定点・定期の調査を行った。(芦屋川プロジェクト2010) ②山の実り調査として、県全域の堅果性の植物の実り具合を調査した。(8月)(日本熊森協会)
	いろいろな主体による観察会や講座を実施する	①市民フェスタで紙芝居・クイズの80分のプログラムを実施し、環境の大切さを伝えた。(8月7日)(日本熊森協会) ②西浜公園で自然観察会を実施し、幼稚園児年長組57が参加した(11月16日)(西浜公園を楽しむ会) ③西浜公園の紅葉が美しい時期に、地域の方々と楽しむために中学生の吹奏楽コンサートを開催し、約150名が参加した。(11月13日)(西浜公園を楽しむ会) ④仲ノ池の落ち葉の堆肥化体験を実施し、5名が参加した。(8月20日)(葉っぱリサイクルクラブ) ⑤芦屋川での自然観察会・芦屋の自然の勉強会を実施した。(朝日ヶ丘小学校80名3回、山手小学校100名2回、精道小学校1回、岩園保育所40名2回)(芦屋川に魚を増やそう会)
	外来生物の流入・増殖、在来種の乱獲を防ぐ	①遡上したアユが水枯れで死ぬ前に助け出し上流に放流した。アユの他、ウナギ、カワムツ、ウキゴリ、モクズガニ、テナガエビ、クサガメ等も一緒に助け出した。10回ほど実施。(5月～8月)(芦屋川に魚を増やそう会)
え自然とふれあえる場を守り、充実させる	山の緑に親しめる場の維持管理、守るための啓発を行う	・六甲山美化協会への協力(事業者) ・枯れ木の伐採、松枯れ・ナラ枯れ対策(樹幹活性剤注入、殺虫剤散布等)(事業者)
	身近な緑や社寺林などのまとまった緑を守る	①毎月例会を開き、西浜公園を清掃している。また、紅葉の頃は毎週のように個人で清掃をしている。(西浜公園を楽しむ会) ②仲ノ池の清掃活動を行い、集めた落ち葉の堆肥化を実施している。(毎月)(葉っぱリサイクルクラブ)
(市への要望・意見)		
<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋川の適切な管理を行うため、芦屋市、西宮土木事務所、尼崎港湾管理事務所、芦屋川に魚を増やそう会で“河川の管理マニュアル”を作成し、後の人に伝えていってほしいと思う。(芦屋川に魚を増やそう会) ・子供たちに森の大切さを伝えたいので、そのような場を与えていただきたいです。(日本熊森協会) ・芦屋川の地勢的・生物類の生息の状況を市民が知る機会があることが望まれる。(芦屋川プロジェクト2010) ・補助金やボランティアの派遣(葉っぱリサイクルクラブ) 		

基本目標②		健康で快適な生活環境を創る
施策の方向	施策	27年度の取組み
水をきれいに保ちたい	自動車による公害を減らす	・低公害車であるハイブリッド自動車を導入した。(7事業者)
(市への要望・意見)		
・低公害車を導入した事業者に対する特典を付与して欲しい。(西本建設)		

基本目標③		美しいまちなみを育む
施策の方向	施策	27年度の取組み
らたみに憩い、実のなる場所をまらされる	公共空間における緑の質の向上を図る	・活動場所(翠ヶ丘町23市住跡地)及び翠ヶ丘公園での緑化活動を行った。(子どもエコクラブグリーンキッズ)
	民有地の緑化に努める	・街路の花の植え替えを行った。(芦屋川に魚を増やそう会) ・事業所内の緑化(7事業者)
まきれいなまな	自主的な清掃活動・美化活動を行う	・芦屋川周辺のゴミ拾い・清掃を実施(年に数回)(事業者)
(市への要望・意見)		
<ul style="list-style-type: none"> ・町の公園美化、季節の花の植え替えや街路のプランター設置等、芦屋らしい町の緑化運動は今後も続けて欲しいし、協力もさせてほしい。(極東ブレイン) ・実費負担をいただければ、さらに充実を図れる。(エムオー産業) 		

基本目標④

地球温暖化を防ぐ

施策の方向	施策	27年度の実績
地球温暖化問題の解決	節電・省エネ行動について学び、地球温暖化問題に関心を持つ	①活動紹介のための講演依頼等で、先進国での食品の大量生産・大量廃棄が地球温暖化に直接的な悪影響を与えていることを説明している。(フードバンク関西) ②夏季に打ち水を実施した。(岩園小学校25名)、(芦屋市民活動センター30名)、(精道小学校50名)(あしやエコクラブ) ③定例会での学習活動を行った。(こどもエコクラブ グリーンキッズ) ④ISO14001の活動の一環として、省エネに関する社員への一般教育を実施した。(エムオー産業)
次世代のためにエネルギーを有効に使う	家庭及び事業所における省エネルギー機器の導入及び再生可能エネルギーの利用を進める	ソフト面 ・空調の適正管理(13事業者) ・不要な照明の消灯・間引き(13事業者) ・クールビズ・ウォームビズ(1事業者) ・従業員のエレベーターの不使用(1事業者) ハード面 ・照明のLED化(14事業者) ・最新の空調機器の導入(12事業者) ・デマンドメーターの設置(1事業者) ・電灯看板の廃止(1事業者) ・オール電化(1事業者)
(市への要望・意見) ・芦屋川に水力発電所を復活させて欲しい。(芦屋川に魚を増やそう会) ・市がどれだけ取り組んでいるのか分かりやすく公表するべきだと思います。(あしやエコクラブ) ・自費で省エネ改修や、低公害車を導入した事業者に対する特典を付与して欲しい。(西本建設) ・省エネ改修等に係る補助金を出していただければありがたいです。(極東ブレイン・エムオー産業 他2事業者)		

基本目標⑤

循環型社会を創る

施策の方向	施策	27年度の実績
ごみを減らし、資源を繰り返し返す	リユースフェスタなどのイベントへの参加や「スリム・リサイクル宣言の店」の充実により、3R活動に取り組む	・活動紹介の中で、食品リサイクルの方法について説明した。日本では、食品をそのまま捨てることは事業系の廃棄物については少なくなっており、たい肥化、エコフィードとしての再活用法が進んでいるなど。家庭からの食品廃棄物については、そのままの焼却が大半であることなど。(フードバンク関西) ・潮見小学校キッズスクエアでリサイクル等について講義を実施した。(参加児童5～20名・9月、12月、3月に実施)(あしやエコクラブ) ・仲ノ池公園の落ち葉の堆肥化の活動の中で、循環型社会の構築についての説明を行った。(8月20日)(葉っぱリサイクルクラブ) ・定例会での学習活動を行った。(こどもエコクラブ グリーンキッズ) ・フリーマーケットの場所提供やマイバックの啓発を行った。(芦屋川に魚を増やそう会) ・リサイクルの徹底(14事業者) ・コピー用紙の裏紙使用(6事業者) ・再生紙の購入(1事業者) ・リサイクルバザーの実施(1事業者) ・枯葉・枯木の幹等をバイオマス燃料として業者に引き取ってもらう(1事業者)
環境製品をやすさで選ぶ	グリーン購入や環境保全上のメリットについて学ぶ	・グリーン購入について知っている(が購入はしていない)(7事業者) ・グリーン購入について知らない(6事業者)
	グリーン購入対象商品の利用を推進する	・グリーン購入を行っている(4事業者)
(市への要望・意見) ・コンポストの設置助成制度が個人と団体の両方あるとすることで、いろいろなメーカーのコンポストが見られる機会が欲しい。(芦屋川に魚を増やそう会) ・参加人員の確保が課題です。市民の意識の向上にはどうすればよいのでしょうか？(あしやエコクラブ) ・芦屋市社会福祉協議会には、ご協力をいただき、3年前くらいからイベント時にフードドライブをすで実施していただいている。市の行事や町内会、子ども会等の行事としても、定着していければ、芦屋市の家庭からの食品廃棄量が減少していくのではないかと考えている。(フードバンク関西) ・分別回収をより徹底させる。(極東ブレイン) ・芦屋市での樹木幹・剪定枝等のリサイクル等ができる環境がないため、リサイクル等が身近で行える場所が欲しい。		